

科目名		授業形態	担当教員名	
生理光学 I 演習		講義・演習	中谷 勝己・谷口 誠典・渡部 暁子 畑中 深里	
時間数 (単位数)		授業回数	年次	開講時期
30 時間 (1 単位)		15 回	1 年次	前期
授業の目的・概要				
視力検査・屈折検査は眼科にて頻繁に行われる検査であり、視能訓練士として検査の手技を身に付けておく必要があります。この授業では、それらの検査方法を理解して、実際に行えるようにすることを目的とします。				
授業の到達目標				
視力検査・屈折検査の手技を修得することを目的とし、以下のことを到達目標とする。 ①眼の屈折と調節の関係を理解できる。②遠見視力を測定することができる。③近見視力を測定することができる。④乱視表を用いる方法にて、眼の屈折を測定することができる。				
授業計画				
回	内容			
1	眼の屈折度と屈折状態、眼の調節、調節異常			
2	眼の屈折と調節の関係			
3	眼の屈折度と遠点の関係			
4	眼の屈折度の表し方、矯正レンズ			
5	遠見視力検査 実習			
6	近見視力検査 (目的、方法、判定)			
7	近見視力検査 実習			
8	屈折検査 (目的、分類)			
9	乱視表を用いる方法 (手順①)			
10	乱視表を用いる方法 (手順②)			
11	乱視表を用いる方法 (手順③)			
12	乱視表を用いる方法 実習①			
13	乱視表を用いる方法 実習②			
14	乱視表を用いる方法 実習③			
15	乱視表を用いる方法 実習④			
成績の評価法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
定期試験	80%			
レポート				
小テスト	20%			
平常点				
その他				
自由記載				
教科書				
書名	著者・編集者名	出版社名		
屈折異常とその矯正 改訂第7版	所敬	金原出版		
視能学 第2版	丸尾敏夫 他	文光堂		
視能学エキスパート 視能検査学	和田直子	医学書院		
眼科検査ガイド 第2版	根木昭 他	文光堂		
視能学エキスパート 光学・眼鏡	松本富美子	医学書院		
目でみる視力・屈折検査の進めかた 改訂第2版	所敬 他	金原出版		
参考文献				
書名	著者・編集者名	出版社名		
理解を深めよう視力検査屈折検査	所敬 他	金原出版		
自由記載				
備考				